Mercury Evoluto

バージョンアップガイド

（Ver.8→Ver.9）

Mercury Evoluto Ver.8 から Ver.9 の
バージョンアップ内容をご紹介しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。

目次

バージョンアップガイド Mercury Evoluto (Ver.8→Ver.9)

1 測量計算 P.1

1－ 1 新元号対応 ____ 1

2 図化編集 P.4

2－ 1 新元号対応 ____ 4

3 道路 P.6

3－ 1 新元号対応 ____ 6

4 水準 P.7

4－ 1 新元号対応 ____ 7

5 その他 P.8

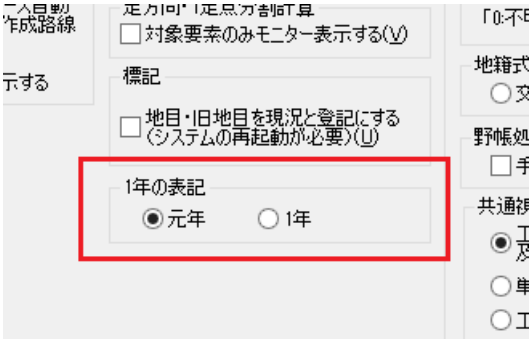
5－ 1 新元号対応 ____ 8

1 測量計算

測量計算の新機能をご紹介します。

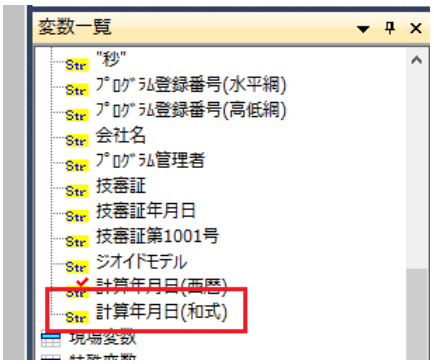
1-1 新元号対応

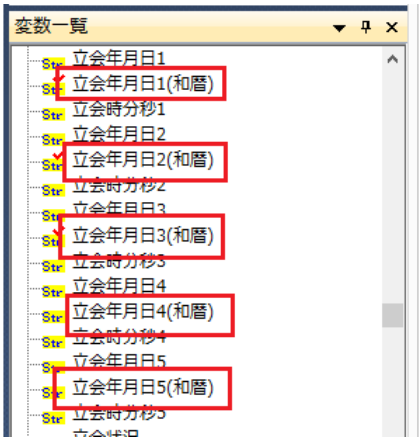
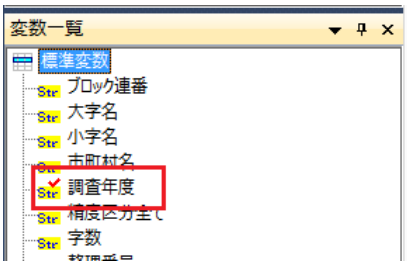
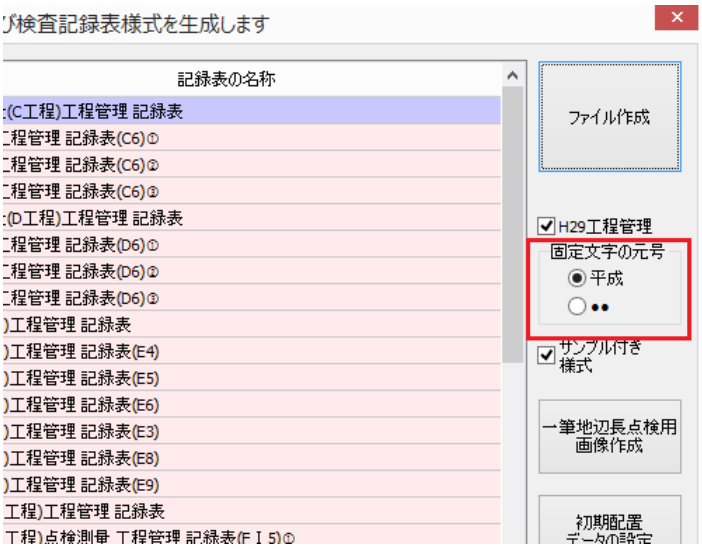
［測量計算］－［設定］－［操作設定］で1年を「元号」と表記するか、「1年」と表記するかを選択できるようにしました。

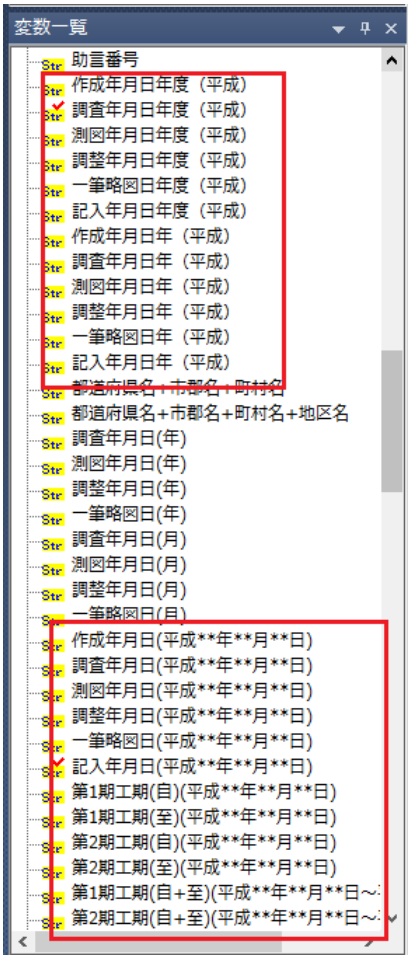
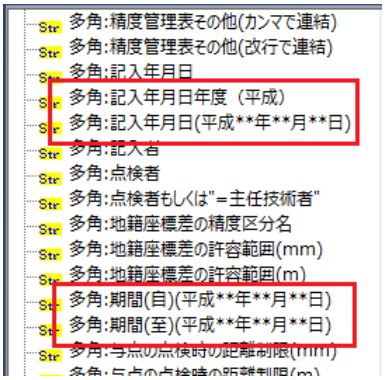


他の対応箇所については対応箇所一覧を参照してください。

■対応箇所一覧

変更箇所	詳細
[ファイル]-[属性取り込み]- [LandStation-S 調査前 筆情報ファイル] [ファイル]-[属性取り込み]- [LandStation-S 調査後 筆情報ファイル]	「H31/03/12」という形式を、「●●01 年 05 月 01 日」という形式に変更しました。
[座標] - [世界測地系] － [変換成果出力]	帳票出力時の元号選択に新元号を追加しました。
[多角] - [簡易平均計算]	以下の帳票変数(標準変数)が新元号および元年表記に対応しました。 帳票エディタ[測量計算]-[簡易平均計算] 

[画地] － [画地帳票出力]	以下の帳票変数(標準変数)が新元号および元年表記に対応しました。 帳票エディタ[測量計算]-[座標法面積] 
[地籍] － [地籍帳票出力]	以下の帳票変数(標準変数)が新元号および元年表記に対応しました。 帳票エディタ[測量計算]-[地籍帳票出力面積 2] 
[地籍] － [地籍工程管理と検査記録表]	Excel に対して和暦で出力する箇所について、新元号および元年表記に対応しました。テンプレート Excel ファイル内に、元号が固定文字として埋まっている箇所があるため、テンプレートファイルを選択できるように設定を追加しました。  以下のテンプレート Excel ファイルを追加しました。 NCINFO¥Print¥EvolutoMain¥地籍工程管理¥地籍工程管理2019Sample.xlsx NCINFO¥Print¥EvolutoMain¥地籍工程管理¥地籍工程管理2019.xlsx

帳票共通	以下の帳票変数(現場変数)が新元号および元年表記に対応しました。  
画地シートで右クリックして[立会日の転送]	「H31/03/12」という形式を、「●●01 年 05 月 01 日」という形式に変更しました。

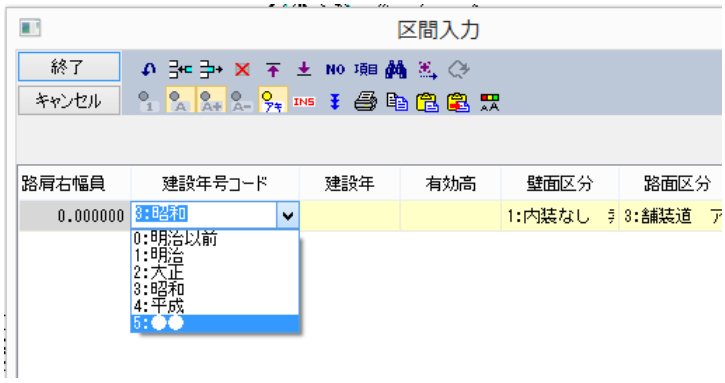
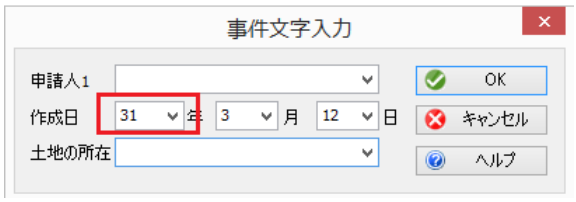
2 図化編集

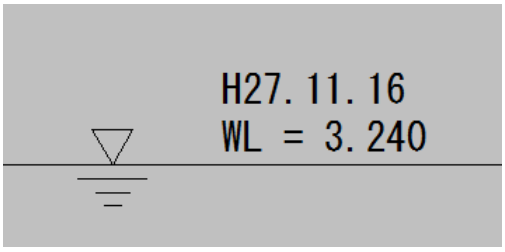
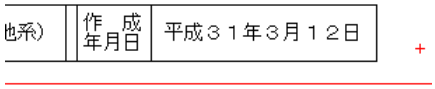
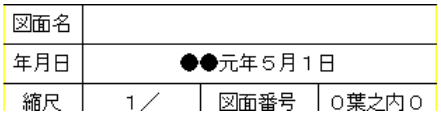
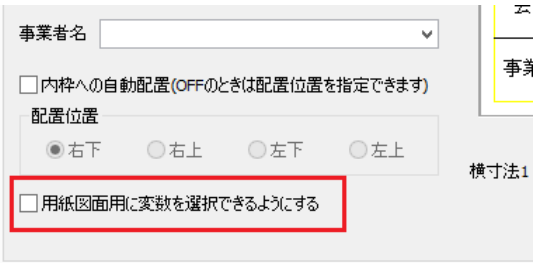
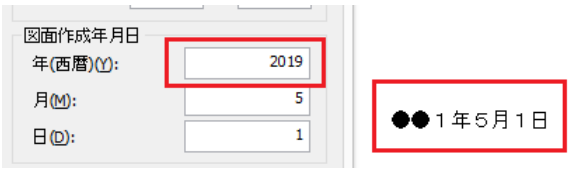
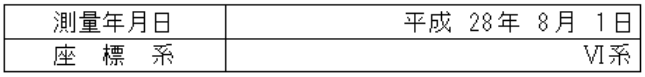
図化編集の新機能をご紹介します。

2－1 新元号対応

対応箇所については対応箇所一覧を参照してください。

■対応箇所一覧

変更箇所	詳細
[ファイル] － [他形式データ出力] － [道路台帳成果 XML 出力] － [道路基盤データ作成出力]	元号選択に新元号を追加しました。 
[ファイル] － [他形式データ出力] － [電子申請-地積測量図 XML 出力]	ファイル出力時に和暦で出力する箇所について、新元号に対応しました。
[ファイル] － [他形式データ出力] － [電子申請-建物図・各階平面図 XML 出力]	ファイル出力時に和暦で出力する箇所について、新元号に対応しました。
[図化作成] － [条件編集]	固定文字の初期値に「平成」という文言が埋まっている箇所を新元号に変更しました。 以下の「地積測量図」用条件ファイルを追加しました。 NCINFO\CONFIG\CHISEKISOKURYOZU\地積測量図標準条件（●●）.CFG。
[図化作成] － [地積測量図作成]	今日の日付から和暦に変換している箇所を修正しました。 図化する際に、和暦で作図している箇所について、元年表記に対応しました。 （※新元号になるかどうかは条件設定で設定します。） 

[図化作成] － [横断図]	水位線の文字の元号部分を新元号のアルファベット表記に対応しました。 
[図化作成] － [法 14 条地図] － [法 14 条地図一括作成]	作成年月日について、新元号および元年表記に対応しました。 
[図化作成] － [表題欄作成]	年月日を和暦で作図する場合に、新元号および元年表記に対応しました。  以下の赤枠の設定を削除しました。 
[コマンド一覧] － [SXF] － [SXF 表題欄編集] ※「SXF」タブを表示するには、OCF 用にカスタマイズした EVCMDLIST.TXT を cmd フォルダにコピーする必要があります。	面に配置されている表題欄の作成年月日が和暦の場合、元年表記に対応しました。 
[図化作成] － [表配置] － [座標系標]	測量年月日について、新元号および元年表記に対応しました。 
[図形編集] － [画地色塗り(現場参照)]	今日の日付から和暦に変換している箇所を修正しました。 図化する際に、和暦で作図している箇所について、元年表記に対応しました。 （※新元号になるかどうかは条件設定で設定します。）

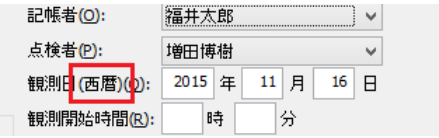
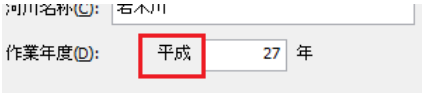
3 道路

道路の新機能をご紹介します。

3－1 新元号対応

対応箇所については対応箇所一覧を参照してください。

■対応箇所一覧

変更箇所	詳細
[現況] － [横断野帳入力] － [断面情報の編集]	今まで観測日は、200 以上の値なら西暦、200 より小さい値なら「平成」と判断していました。 今後は、西暦で入力してもらうため、「西暦」の表記を追加しました。 
[現況] － [河川定期縦横断] － [定期縦横断属性入力]	今まで作業年度は、平成固定で入力していました。 今後は、新元号での入力も行うため、「平成」の表記を削除しました。  以下の帳票を追加して、新元号への切り替えに対応しました。 EvolutoRoad\定期横断属性入力\U 横断測量成果整理表様式 2-2(摘要印字なし)(●●).EPF EvolutoRoad\定期横断属性入力\U 横断測量成果整理表様式 2-2（●●）.EPF EvolutoRoad\定期横断属性入力\U 河積計算書（罫線）Type1（●●）.EPF EvolutoRoad\定期横断属性入力\U 河積計算書（罫線）Type2（●●）.EPF EvolutoRoad\定期横断属性入力\U 河積計算書（罫線）Type3（●●）.EPF

4 水準

水準の新機能をご紹介します。

4－1 新元号対応

対応箇所については対応箇所一覧を参照してください。

■対応箇所一覧

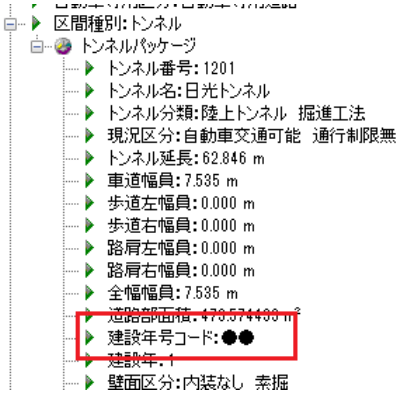
変更箇所	詳細
[新規作成]	作業年度の初期値の計算部分を修正しました。
[ファイル] － [インポート] － [水準観測比高データ]	新元号に対応しました。
[網平均] － [入力リスト]	以下の帳票を追加しました。 EvolutoLvl¥水準網平均計算入力¥U 入力リスト（●●）.EPF

5 その他

その他の新機能をご紹介します。

5－1 新元号対応

対応箇所については対応箇所一覧を参照してください。

■対応箇所一覧

変更箇所	詳細
道路台帳検査・閲覧システム (EvolutoRoadAccountViewer.exe)	建設年号コードが新元号に対応しました。